

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

ポコです!



「自分の身は自分で守る」自律の第一歩

ゴールデンウィークが終わってしまい、がっかりしている人も多いのではないかと思います。私は、ゴールデンウィーク中に、愛犬ポコと一緒に笠間で開催された「陶炎祭」や千波湖ふれあい広場で開催された「あおぞらクラフトいち」に行ったり、7年ぶりぐらいにゴルフ練習に行ったりして充実した休みとすることができました。最も中学生の皆さんは、部活動などもありますので、毎日が休みだったわけではないと思いますが...

さて、本年度の学校教育目標を「『自律』『尊重』～誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校～」とさせてもらいましたが、4月からこの学校を見ている中で、この学校目標に対して疑問に思っていたことがあります。それは、登校時の教頭先生の正門での交通整理です。小学生低学年を念頭に、横断歩道で交通安全指導をする姿はよく見かけますが、中学生を相手に、あんなにきめ細かく交通整理をしている姿をこれまで見たことがありません。皆さんの間では、それが当たり前になっていて、違和感をもってはいないかもしれませんが...

先述した「きめ細かい」についてですが、近年、多くの教育者が、「きめ細かい指導は自律を阻害する」と述べています。確かに交通指導は命に係わることなので、大切なことではありますが、中学生に毎朝の交通整理は、やり過ぎだと感じます。何事も「過ぎたるは及ばざるが如し」で、やり過ぎると「自律」という大切な力を削ぐことにつながってしまいます。

「釜石の奇跡」を皆さんは知っていますか？ 東日本大震災の時に釜石市の鶴住居地区の小中学生が自分自身の判断で高台に避難し、全員の命が助かったという避難行動のことです。これこそ、まさに「自分の身は自分で守る」ことのできた事例です。中学生は、歩けなくなった小学生の手を引いたり、リヤカーに乗せたりして、自分自身以外の身も守ったようです。



「交差点では一時停止する」「左右をしっかりと確認する」「自転車は横断歩道を押して渡る」「出入口は特に気を付ける」などの交通ルールやマナーをしっかりと守ることで自分の身を自分で守っていける中学生になってほしいと思います。「自律の第一歩は、自分の身は自分で守ること」と心得てほしいと思います。

今週から教頭先生には、交通整理をするのではなく、自分たちで気を付けて登校できているかを見守ってもらうようにお願いします。北中生のプライドにかけて、安全な登校を自分自身でできるよう努めてください。みんなならできると信じています。

